

まごころ

with all our hearts

magokoro

Vol.

42

January  
2009

▶ Customers Information お客様訪問レポート

蛭子神社 宮司 井上 優 様

幸福に満ちた一年は「えべっさん」から

▶ Topic

大幅なランニングコスト削減を可能に!  
省エネ診断でお客様をサポート

▶ Interview

匠に聞く - 第3回 - 株式会社富永組 出雲 直人 様

建物を支える熟練の技

▶ Report

須磨区電が台1丁目プロジェクト始動!  
光と風に愛される街

▶ Information

厚生労働大臣感謝状受賞

第8回 チャリティーバザーを開催



おかげさまで村上工務店創立60周年  
記念祝賀会開催



# 幸福に満ちた一年は「えべっさん」から

にぎやかなお正月の雰囲気はひと段落したのもつかの間、毎年、多くの人々がこの日が来るのを心待ちにしています。それが「柳原のえべっさん」。ここ蛭子神社は福の神として古くから信仰を集め、最大の神事「十日えびす大祭」では、商売繁盛や学業成就、家内安全を祈願する人で境内は大にぎわいを見せます。蛭子神社の宮司である井上様は、地域の人々をはじめ、遠方からも福を授かりに来られる方をお迎えする役目を担っておられます。年末も押し迫った中、神社でのお務めやお社をお守りする心得など、貴重なお話を伺いました。



当社施工「蛭子神社社務所」

Customers Information  
\* お客さま訪問レポート \*



ひまこ  
蛭子神社 宮司 井上 優様

## 安全で気持ちの良い参拝こそ福の神の恵み

— 年末が近づくとつれ、これからますますお忙しい時期を迎えられると思いますが、大きな祭事を控え、現在（11月下旬段階）は、どのような準備をされているのですか？

初詣もちろんですが、地域をはじめ、遠方からも大勢の方が参拝される「十日えびす大祭」は、私ども神社にとって、もっとも大きなお祭りです。3日間で約35万人の方が来られますので、特に安全面では、毎年、細心の注意をもって取り組んでおります。

幸い、今まで大きなトラブルや事故もなく、無事にお祭りをさせていただきました。それは本当にありがたいことであり、参拝に来られた皆様が気持ちよくお参りしていただけることが、何よりの福であるという思いで、今年も夏過ぎから準備を始めております。

つい先日は、兵庫警察署や兵庫消防署の方々、地元自治会の皆さんと周囲の交通規制や警備方針の打ち合わせを行ったところです。この時期になると「いよいよだな」と気が引き締め、良い緊張感をもちながらも、心静かにお迎えの準備を進めております。

とくに2008年は明るいニュースが多くなかったこともあり「来年こそは良い年に」という願いを込めて、参拝される方が多いのではないのでしょうか。

## 人生の役割を自覚するまでの葛藤も大切な経験

— 毎年、多くの方が露店の並ぶ参道までの道を笑顔で歩いている様子が印象的ですね。そんな福を授けてくださる神様にご奉仕する宮司というお仕事は3代目だとか。やはり幼い頃から「将来は宮司に」とお考えだったのですか？

実はそうでもないのです。たしかにここ蛭子神社の神職は祖父の代からお務めさせていただいております。当然、父の跡を継ぐのが自然の流れになるのですが、私自身、高校生になるまで、とくに意識することはありませんでした。

人生の進路を決める上で、初めて意識したのは、大学受験がきっかけです。神職になるためには資格を取得する必要があります。国内には、東京と伊勢に神職専攻の学部があります。そ

のときは、一生の仕事として決心するまでに至らなかったのですが、偶然に高校3年の担任の先生が伊勢にありますが皇學館大学の出身でしたので、その先生の薦めもあり、進学しました。

入学しても、まだ漠然とした迷いはあったと思いますよ。専門といっても文学部なので、就職活動の時期には一般企業の方でも構わないわけです。しかし、大学卒業後、石川県の神社へ奉職し、そのうち次第に私の中で、自然に、そしてじんわりと宮司になる意志が固まっていったのだと思います。

今では、このお役日は私の天職であると、はっきり断言できます。

— 石川県にある神社での修行を終え、ご実家である蛭子神社に帰って来られてから、ご自身で神社を切り盛りされるのは大変だったのではないですか？

たしかに修業時代は、大勢いる神職の中の1人ということで、自分がしなければならない役割は決まっていました。しかし、帰ってからはご実務となりますと、日毎の神事や恒例の祭典はもちろん、十日えびすのように街を上げての大祭や日々の細々した雑用まで、すべてを1人でこなさなければならないので、慣れるまでは苦勞しました。一般企業でいうなら、宮司はちょうど「社長兼こづかいさん」といった感じでしょうか。

## 心を清らかに、気持ちの良い「場」をつくる

— 民間人にとって宮司というお仕事は、神様にお仕えるので、神聖といえますか、何か特別な感じがします。先ほど言われたように、そのようなお忙しい中で、毎日、どのような心構えをされているのですか？

神社は人々が神様に祈願したり、悩み事を聞いていただくために来られ、そして、お帰りにするときには、清々しくなっている、そういう場所だと思っております。ですから、その神社でお務めする私たち宮司はまず、自分自身の気持ちが清らかで、心身ともに健康であることが大切です。

そうかといって、日々、暮らしておりますと、ストレスがたまることもあります。そういうときには、気持ちの切り替えをすること。そのための特効薬は「よく寝ること」でしょうか（笑）。



戎舞

戎舞 宵えびすの1月9日は様々な伝統文化に親しみ良い機会



十日えびす大祭

十日えびす大祭 境内には福を頂く多くの人で大にぎわいを見せる

— 宮司になられた当初と、経験を積まれた今と、何か心の持ち方に変化はありましたか？

やはり若いときは、日常生活と神職としてのお務めのバランスをとることは、難しかったと思います。一般的なお仕事のように物を作るとか、物を売るという目に見えることなく、神職は目に見えない「心」に関わることなので、経験を積むことが必要でした。しかし、今ではそういった悩んだ時期も良い経験として受け入れることができ、バランスをとることもできるようになりました。

今も「十日えびす大祭」を間近に控え、それに対応する緊張感や気合いも大切です。しかし、大きなお祭りだからこそ、その緊張感を解きほぐし、それを心地良い平常心に変え、心静かに行うことが大切なのだと実感しています。

## 神社は地域交流の場、生活の中に神事を

— 戦後、経済が発展するのは逆に、日本人の精神性が失われつつあるのではないかと思います。そういった時代において、地域社会にとって神社とは、どのようなお役目を担っていると思われますか？

ここ兵庫区は社寺仏閣が多いことで知られています。そういったことから、昔からこの地域は信仰心の厚いところだったのだと思います。

本来、神社は、地域の皆さまの身近な存在であり、なじみのあるものだったのだと思いますが、今はその意味合いが失われている部分もあります。たしかに初詣や十日えびすなどは、多くの方に来ていただいておりますが、普段から地域交流の場として足を運んでいただくようにすることが私たち宮司の役割だと思います。

それに、子どもたちの生活環境も問題視されていますが、神事を通して、古き良き風習を子どもたちに知ってもらうことも大切なのではないのでしょうか。

— 地域貢献、地域交流の場という意味で、具体的にどのようなことをされているのですか？

十日えびす大祭の宵宮には、神楽殿で淡路人形浄瑠璃による「戎舞」を奉納し、情緒ある伝統文化に親しんで頂いております。また、7月の「夏越祭～茅の輪くぐり～」は、地域のご協力によって縁日を催し、昔ながらの日本の夏を味わって頂いております。そのとき行います「茅の輪くぐり」は、茅という草を束ねた輪を設け、その中をくぐる神事で、心身を祓え清め、家族みんなの健康を願うという意味が込められています。これが意外と、子どもたちの楽しみようで、うれしそうにくぐっている姿を見ると、今も昔も変わらないなあ、と思いますね。

— では、昔と今、大きな違いは、どのような時に感じられますか？

現代の人々は、何に対しても結果をすぐに求めてしまうこと

でしょうか。たとえば、お守りを例にとりますと、本来、神社でお出しするお守りは、1種類だったのです。1つあれば、すべての願いに御利益があることが普通でしたが、だんだん祈願の種類ごとに細分化されるようになりました。といいますが、すべてに効果があるという漠然としたものでは効き目がないのではないかと、つまりすぐに効果が出ないのではないかとと思われるようになり、何かに特化したお守りが一般的になったといわれています。

そういったことから昔の日本人がもっていた「良い曖昧さ」という、心のゆとりが薄らいでいるのかもしれない。

## 御社殿再建に向けて再出発、新たな時代へ

— 今年も安全で活気のある「十日えびす大祭」を楽しみにしております。では、最後に、これからの抱負をお聞かせください。

阪神淡路大震災後、全壊した社務所を村上工務店さんに再建して頂いたのが平成9年。そのときに同時に被害を被った御社殿は、戦後まもなく創建されたもので、ずいぶん老朽化が進んでいました。その御社殿を平成23年の完成に向け、建て替えを行う予定になっております。ちょうどその年は建立から60年日という人に例えると還暦に当たる節目の年にもなりますし、心機一転、新しい御社殿とともに、地域の皆様と新たな時代を築いて参りたいと思います。

— ありがとうございます。



夏越祭

ご家族の安泰と健康を祈願する「茅の輪くぐり～大祝式」

地域の方々との協力で行う「夏越祭」。楽しい露店がいっぱいです。



**蛸子神社**  
〒652-0806 神戸市兵庫区西柳原5-20  
TEL.078-651-0183 (代)  
FAX.078-681-3238  
<http://www.hyogo-ebisu.com>

創建：御鎮座の年代は不詳。兵庫津の「寺社改帳」より元禄以前より祀られていたと記されている。

祭神：蛸子大神（一般的には「えびすさま」）・大物主大神  
主な祭礼：十日えびす大祭（1月9・10・11日） 戎舞：1月9日  
午前11時～12時・13時30分～14時30分 夏越祭：7月10日



# 大幅なランニングコスト削減を可能に！ 省エネ診断でお客様をサポート

建物に合わせた提案でエネルギー効率を改善、  
省コストの可能性をご提示します。



建物のライフサイクルコストのうち、建築時の費用は25%に過ぎず、残りの75%は建物運用開始後にかかる費用とされています。村上工務店では、お客様が建物を効率的に、そして、長期間快適にお使いいただけることを念頭に、サポートして参ります。

## ★省エネによるコスト削減効果

建物の運用には、電気、ガス、水道など多くのエネルギーが消費されています。一見、問題なく動いている各機械や設備も、一度エネルギー効率を見直すことで省エネ、省コストの可能性が生まれてきます。

村上工務店では、初期投資と省コストの費用対効果を最重視した視点から、お客様の状況に合った「省エネ診断」を行っております。

工務店としての経験と知識を生かし、建物と設備機械への対策を総合的に見極め、省コストの可能性をご提案いたします。

### 【事例1】工場

照明器具を高出力型に変更し、工場内全体の照度をアップし、年間の電気料金を削減。



### 【事例2】各施設での空調制御

生産現場・事務所・研究開発部門の建物における空冷式空調設備のデマンド制御を開始。



## ★トータルな視点でのご提案

エネルギー消費量の多くを占める電気を中心に、ガスや水道など、ご利用の建物に対し、総合的な視点で複数の方策を組み合わせた省エネ・省コストの可能性を見極めます。

また、設備機器類をリース契約いただくことで、初期投資が全くかからず、省エネのメリットのみを享受することができるESCO（省エネルギー改修にかかる費用を光・熱・水道費の削減分で賄う方式）など、建物とお客様のご要望に合わせ、最適な組み合わせを総合的な視点をもってご提案しております。

## ★現状把握から始まる省エネ

省エネ・省コストへの第1歩は、現在のエネルギーの使用状況を把握することから始まります。

【省エネ診断の流れ】



「省エネ診断」では現場にお伺いし、エネルギー効率の良い使い方かどうか、改善余地はないかなど、まずは正確に現状を把握することで、省コストの可能性を探っていきます。そして、ヒアリング、調査の内容を元に、実績のある省エネ技術の中から、お客様のご要望にマッチする方策を検討し、実際の効果を予測しながら評価します。

省エネ・省コストのご提案は、無料で実施いたしております。どうぞお気軽にご相談ください。

「省エネ診断」お問い合わせは  
(株)村上工務店・開発室  
TEL.078-515-2332 (担当:西村)まで



## 省エネ法改正で身近になる CO<sup>2</sup>排出削減

省エネ法とは工場、輸送、建築物でのエネルギー使用の合理化や機械器具の省エネ基準強化などに関する法律です。

2005年に公布された京都議定書の削減目標を達成するため、2009年4月より改正法が施行となり、結果的に省エネ対策を必要とする対象企業（事業者）が拡大されます。

### column

○改正のポイント1: 管理の対象が「一定量以上のエネルギーを消費する建物（事業所）」だったことに加え、「合計値が一定量以上のエネルギーを消費する企業（事業者）」に広がりました。大規模な工場などに限らず、フランチャイズの店舗など小規模建物を多数運営する企業も対象に加わります。

○改正のポイント2: 非居住・居住を問わず床面積2000m<sup>2</sup>以上の場合、新築、増改築をはじめ大規模な改修、修繕の際、省エネ措置を所轄行政庁に届出の義務が発生します。



街並イメージ (当社施工例)



住居内部イメージ (当社施工例)

## 須磨区竜が台1丁目プロジェクト始動!

# 光と風に愛される街

このたび共同事業主である和田興産株式会社様と当社は、神戸市営地下鉄名谷駅から徒歩約10分という好立地の須磨区竜が台におきまして、木造2階建て住宅の新しい街づくりを計画しております。

大規模な宅地開発が行われる以前の竜が台は、垂水区名谷町奥畑の一部で、昭和50年に須磨区に編入されました。名谷町字龍華谷の旧字名が地名の由来であると聞いております。

名谷の開発は昭和39年を皮切りに埋立地を造成、その跡地をニュータウンに転用して昭和45年から順次入居が始まりました。神戸市のニュータウンとしては最も古く、入居が開始されてからすでに約40年が経過、現在、名谷駅徒歩圏内では、大規模な宅地造成地はほとんどないというのが現状です。

しかし、阪神間はもとより、神戸以西のベットタウンとしての人気は未だ衰えず、この場所に住む事を求められる方が多い中、当社は和田興産株式会社様との企業連合として竜が台1丁目における神戸市有地の民間事業コンペに参加し、当選することができました。

今回の計画では自然との共生をめざし、四季の移ろいを感じることでできる快適な住空間全57区画を企画しております。全区画とも敷地面積は150㎡(約45坪)以上を確保。ゆったりとした敷地を充分に活用できるような、個性あふれる57邸の住戸を計画します。さらに全邸2台分の駐車スペースを設け、ガーデニングも楽しんでいただけるよう、ゆとりのある屋外アプローチになっております。

昨年の5月より既存構造物の解体撤去工事を進めてまいりましたが、ようやく年始より造成工事に着手する運びとなりました。造成工事が完了後、建築工事を着工し、平成22年、年初より分譲させていただく予定にしております。

成熟したニュータウンである名谷のニューフェイスとして、落ち着いた街並みに溶け込みながら、新しく住まう人々やご近隣の方々が気持ち良く暮らせる街並み、そして住宅を企画していきたいと考えております。

### 参考プラン

ガーデンリビングや大きなルーフガーデンなど開放感を追求した邸



(位置図)



### ■全体区画面



### どうぞ期待ください!



昨年12月より解体工事後の埋戻し工事が開始された現場。来年にはどのような街並みが登場するのか、大きな注目が集まる。



竜が台1丁目プロジェクトの情報をご案内します。  
お問い合わせは (株) 村上工務店・企画営業部  
TEL.078-515-2316 (担当: 灰本) まで



に  
聞  
く  
第  
3  
回

何事でもそうですが、骨組がきちんとできていれば、よほどのことがないかぎり、その後のプロセスで失敗をしたり、誤った方向へ進むことはありません。それが「建物」という目に見えて上へ上へと積み重ねていくものなら、なおさらのこと、型枠工事は最も重要な工程のひとつだといえるでしょう。今回は、そんな躯体工事のプロ、型枠大工さんが働く現場を訪問しました。

株式会社富永組 いずも なおと 出雲 直人 様

## 建物を支える熟練の技



### 建物の基礎を担う型枠大工

「型枠」という言葉から想像するもの。それは「基礎」や「骨組」という物事の核をイメージするのではないのでしょうか。

建物が完成するまでには、いくつもの工程を要します。そして、そこにはそれぞれの作業を専門に手がける職人さんがおり、各々の作業を完璧にこなすことによって、ひとつの建物が完成します。

「型枠大工」とは、文字通り、建物の形を造る人、つまり、躯体の部分の請け負うプロフェッショナルです。

たとえばビル建築には、その大小に関わらず、大半が鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造です。また、木造の建物も基礎部分はコンクリートで施工します。このコンクリートの構造は鉄筋を組み、それを型枠で囲って形を造り、コンクリートを流し込み固めることによって完成します。型枠大工とは、鉄筋を囲んだ中に、コンクリートの形を造るための枠を建て込む作業を行うのが仕事です。



マンションの建設現場で作業する出雲直人さん。ささいな雑音も見逃さない慎重な仕事ぶりで、周囲の信頼も厚い。

### 職人として自信がついたのは10年目

出雲さんは、そんな型枠大工歴17年目を迎える型枠工事のベテランです。今回、訪ねたのはマンションの建設現場。完成すれば10階建てのマンションになり、取材に伺った時は、6階部分の型枠の建て込み中でした。

建設技術者の中でも高度な技術が必要とされる、この職を選んだきっかけを尋ねると、

「高校を卒業後、すぐに大工の世界に入りました。きっかけはたまたま知人の親御さんが大工をされていて、手伝いに来ないかと誘ってもらったことです。

たしかに動機は単純でしたが、それ以来、ずっとこの仕事を続けることになりましたので、結局、性に合っていたんだなと思います。

それでも一生の仕事にしていく自信がついたのは、大工になって10年目からでしょうか。どんな仕事でもそうですが、続けていくことは、とても力のいることで、大変だと思えます」

### 経験こそ職人にとっての技術向上の術

型枠大工は、建物の核となる骨組みを造るわけですから、とても重要な工程のひとつだと言えます。では、その工程を進めていくうえで、どのような点に注意を払っているのでしょうか。

「型枠を始めとする躯体工事がしっか

りと施工出来ていないと、その後の工事への影響も少なくないので、慎重に作業していかなければなりません。つねに垂直であるか、水平であるかを確認し、きちんと納まりを確認しながら進めていきます。もちろんマンションの規模にもよりますが、一般的なマンションの場合、ワンフロアを完成させるには、およそ12日間かかります。そして、建て込み中は、柱や壁の補強修正のため、今まで進めた所を、その都度チェックしていきます。また、コンクリートは型枠に流したとき圧力がかかりますから、一気に流し込むと型枠が破損してしまうこともあります。そのため、コンクリート打設時に型枠の状況をチェックする事も重要です。そういった一つ一つの作業を確認することが、仕事の質や効率を上げていくことになるのだと思います」

### 今後の課題は若手職人の育成

「型枠大工に限らず、この業界に共通しているのは、人材が不足しているということです。たしかに体力的にも厳しいですし、夏は暑い、冬は寒い、と決して楽ではないので、若い人がなかなか育たないという現実があります。しかし、一度手にした技術は財産です。それに完成した物が目に見えて実感でき、大きな達成感を得ることができる、そういったやりがいは大きいですね」

### Information 社内ニュース

#### 厚生労働大臣感謝状受賞

当社が社会貢献の一環として続けてまいりました献血が、今年で連続25年を迎えました。その「献血の推進に積極的に協力した」ことが評価され、昨年10月28日、兵庫県公館で行われました「平成20年度兵庫県献血功労感謝のつどい」において、厚生労働大臣感謝状をいただきました。この受賞を通過点とし、これからも献血活動推進に寄与していきたいと思えます。



### Information 社内ニュース

#### 第8回 チャリティーバザーを開催

昨年の12月7日(日)、当社の本社ビルや駐車場を会場に、チャリティーバザーを開催いたしました。平成6年に第1回目が始まり、以来2年に1度のペースで実施、今回が8回目となります。前日からの寒波の影響で冷え込みが心配されましたが、当日は曇りついで快晴となり、昼頃には気温も上昇。そのせいか、入場者が急増し、焼きそばやおでんなど飲食コーナーは、長蛇の列が出るほどの盛況ぶりでした。餅つきやゲームで楽しんだり、今回が初の試みとなる手打ちうどん作りに挑戦したりと、参加者の皆さんの笑顔の輪が広がりました。



このバザーはお客様をはじめ、社員やその家族、取引業者の方々、そして近隣の皆様の協力で実施されています。また、バザーの売上金の一部を社会福祉団体に寄託するというのも開催目的の一つです。今回も、より多くのご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。





**will Do 神楽町**  
発注者:和田興産株式会社  
2007年12月

クラシックとモダンが同調した個性的な外観が、落ち着いた住空間を演出する。



**花コーポ神戸東山館**  
発注者:神戸市住宅供給公社  
2008年3月

震災を乗り越え、ようやく完成した「花コーポ」には、大きな夢と希望が込められている。



## Gallery 2008

当社が施工させて頂きました建物の一部をご紹介します。※敬称略



**神明 西宮浜北工場倉庫**  
発注者:株式会社神明 2008年5月

倉庫という用途を基本に、機能性を重視。明るい工場内は作業がしやすいように工夫されている。



**ワコーレ兵庫プランセ**  
発注者:和田興産株式会社  
2008年8月

シンプルでシャープな外観は、周囲の景観とマッチし、スッキリと上品に。



### おかげさまで村上工務店創立60周年 記念祝賀会開催

Information  
社内ニュース

創立記念日を翌日に控えた昨年10月19日(日)、神戸ポートビ  
アホテルにおいて、創立60周年記念祝賀会を開催させて頂きました。  
当日は協力会社である村栄会会員の皆様にご出席を賜り、まことにあ  
りがございました。

お世話になりました方々からの祝辞をご紹介させて頂いた後は、鏡開き、  
乾杯へと進みましたが、60年という長き月日を振り返りますと共に、会長、  
社長をはじめ、社員とども一丸となり、決意を新たにする機会となりました。  
また、今回はリノベーション部の石野社員が所属する、明石吹奏楽団

の皆様によるアンサンブルの生演奏が会を華やかに彩りました。さらに、  
「株式会社 村上工務店 60年の歩み」と題したスライド上映では、懐か  
しい写真の数々に話の華が咲き、会場は大いに盛り上がりを見せました。

昭和23年10月20日、現会長である村上隆信が株式会社 村上工務店  
を創立してから60年、お客様をはじめ、協力会社の皆様に支えられ、お陰様  
を持ちまして、今まで歩み続けることができました。

私たちは、この60周年を「頂いたご縁」への感謝の機会として捉え、「ま  
ごころ」と「信頼」を基とし、建築を通じてお客様、そして社会に貢献して  
参ります。これからも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

鏡開き

明石吹奏楽団による生演奏



北欧のやさしい色彩が織りなすアート  
スウェーデンの輸入壁紙「デコールメゾン」



デコールメゾンは、テキスタイルで有名な町ブローから生み出された壁紙。北欧デザイナーの力が、デコールメゾンのデコラティブなデザインに反映されています。部屋や店舗全体を美しく飾るほか、近年のスウェーデンでは、壁の一面だけをデコラティブに演出する方法に注目が集まっています。

村上工務店ではスウェーデンよりデコールメゾンの壁紙を輸入、販売しています。  
(ホルムアルデヒド発散等級F☆☆☆☆、および不燃材料としての大府認定を取得。)

お問い合わせは 村上工務店・開発室 TEL.078-515-2332 まで。

DecorMaison  
TAPETDESIGN

▼最新パンフレットをご用意しています  
<http://www.decormaison.jp>



## 株式会社 村上工務店

神戸市兵庫区三川口町2-4-8 TEL.078(577)2031(代) FAX.078(576)3773

ホームページからも様々な情報がご覧いただけます。

<http://www.murakami-gc.co.jp> E-Mail [info@murakami-gc.co.jp](mailto:info@murakami-gc.co.jp)

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】 個人情報に関するお問合せ窓口 個人情報に関する苦情、開示、訂正、利用停止等を下記窓口にて承っております。  
株式会社 村上工務店 営業部 〒652-0815 神戸市兵庫区三川口町2丁目4番8号 TEL.078-577-2031 FAX.078-576-3773 E-mail:info@murakami-gc.co.jp  
詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.murakami-gc.co.jp>